

# 2026年3月期決算の概況



---

SBIインシュアランスグループ株式会社

証券コード：7326      2026年5月12日

連結業績	P. 3
次期の連結業績予想、配当予想	P. 13
セグメントごとの経営成績	P. 18
事業トピックス	P. 32
参考資料	P. 41

#### (免責事項)

- 本資料に掲載されている事項は、SBIインシュアランスグループ株式会社（以下「当社」）による当社グループの業績、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、日本国内外を問わず、いかなる投資勧誘またはそれに類する行為を目的としたものではありません。また、当社は、本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分について保証するものではありません。なお、本資料の内容は予告なしに変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

#### (本資料中の表示)

- 資料内の社名等の表示に、次の略称を使用している箇所があります。

SBI損害保険株式会社・・・SBI損保

SBI生命保険株式会社・・・SBI生命

SBI少短保険ホールディングス株式会社・・・SBIH

SBIいきいき少額短期保険株式会社・・・SBIいきいき少短

SBI日本少額短期保険株式会社・・・SBI日本少短

SBIリスタ少額短期保険株式会社・・・SBIリスタ少短

SBIプリズム少額短期保険株式会社・・・SBIプリズム少短

SBI常口セーフティ少額短期保険株式会社・・・SBI常口セーフティ少短

SBIペット少額短期保険株式会社・・・SBIペット少短

# 連 結 業 績



**経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の3項目いずれも過去最高金額を更新**

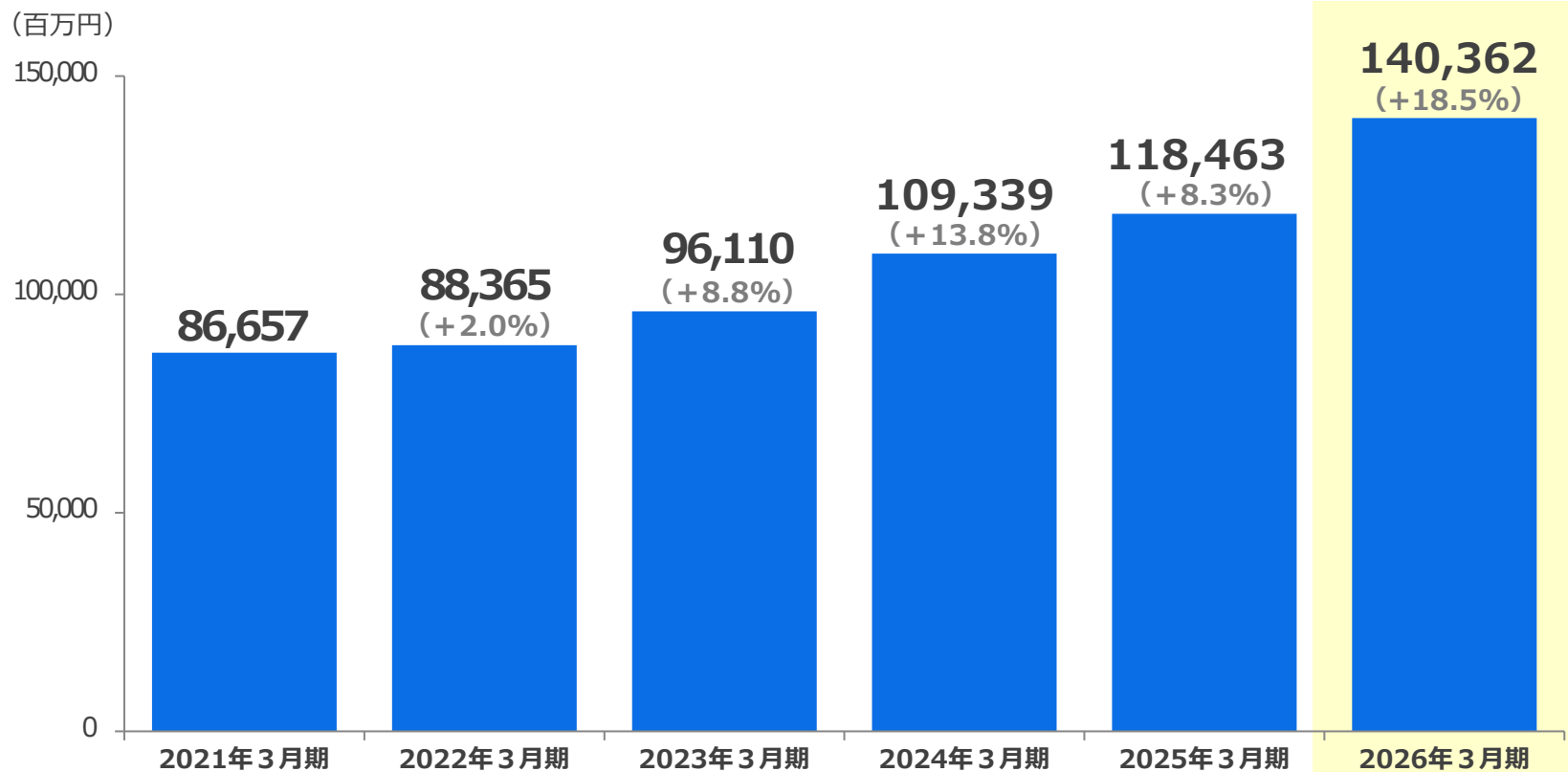
## 2026年3月期 連結業績

(単位：百万円)

	2025年3月期 (2024年4月～2025年3月)	2026年3月期 (2025年4月～2026年3月)	対前期 増減率
経常収益	118,463	140,362	18.5%
経常利益	9,474	13,164	39.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,988	2,880	44.8%

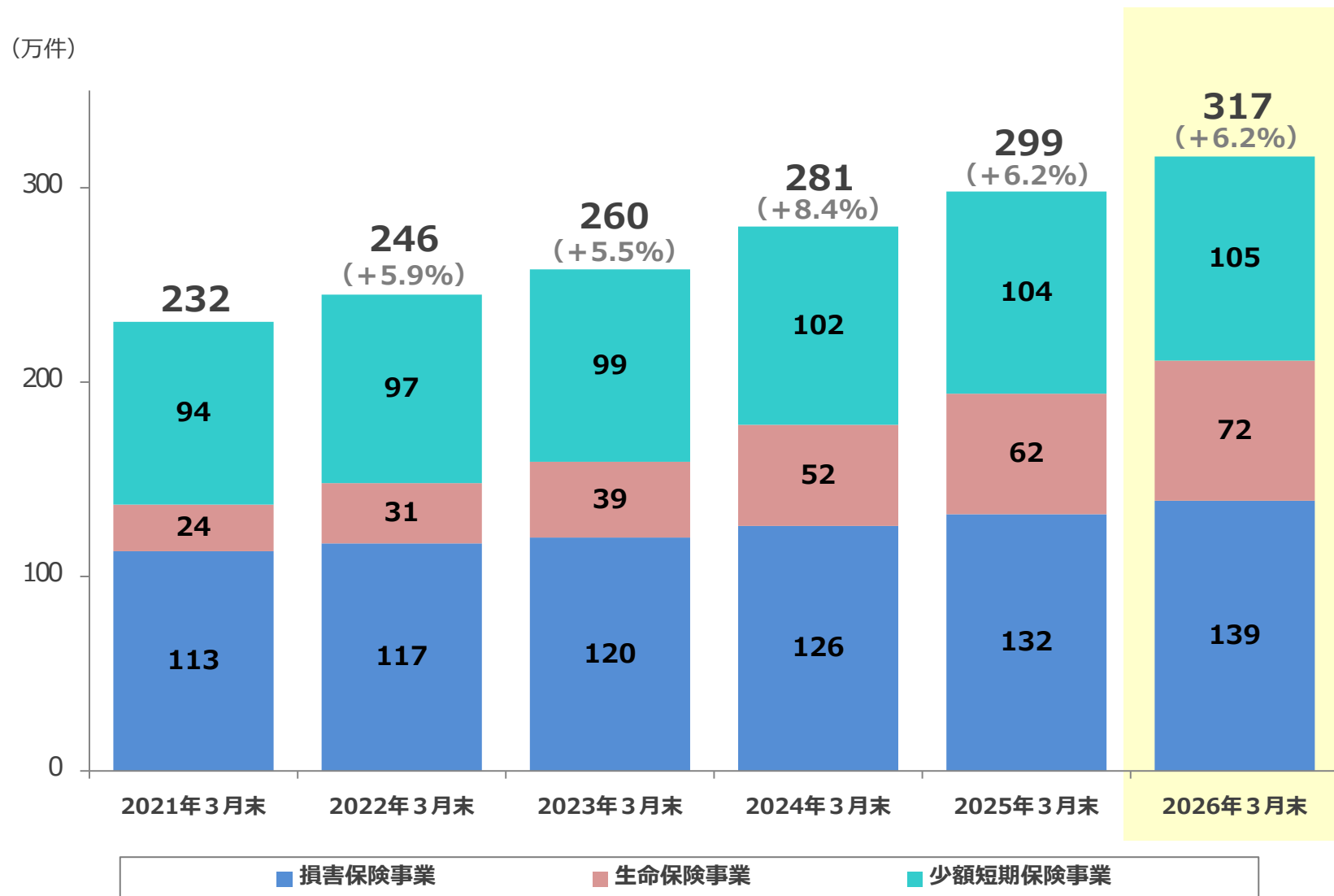
経常収益は 140,362百万円。保有契約件数の堅調な増加に加え、生命保険事業における特別勘定資産運用益の増加<sup>\*</sup>により、前期比 18.5%の増加

『経常収益』の推移



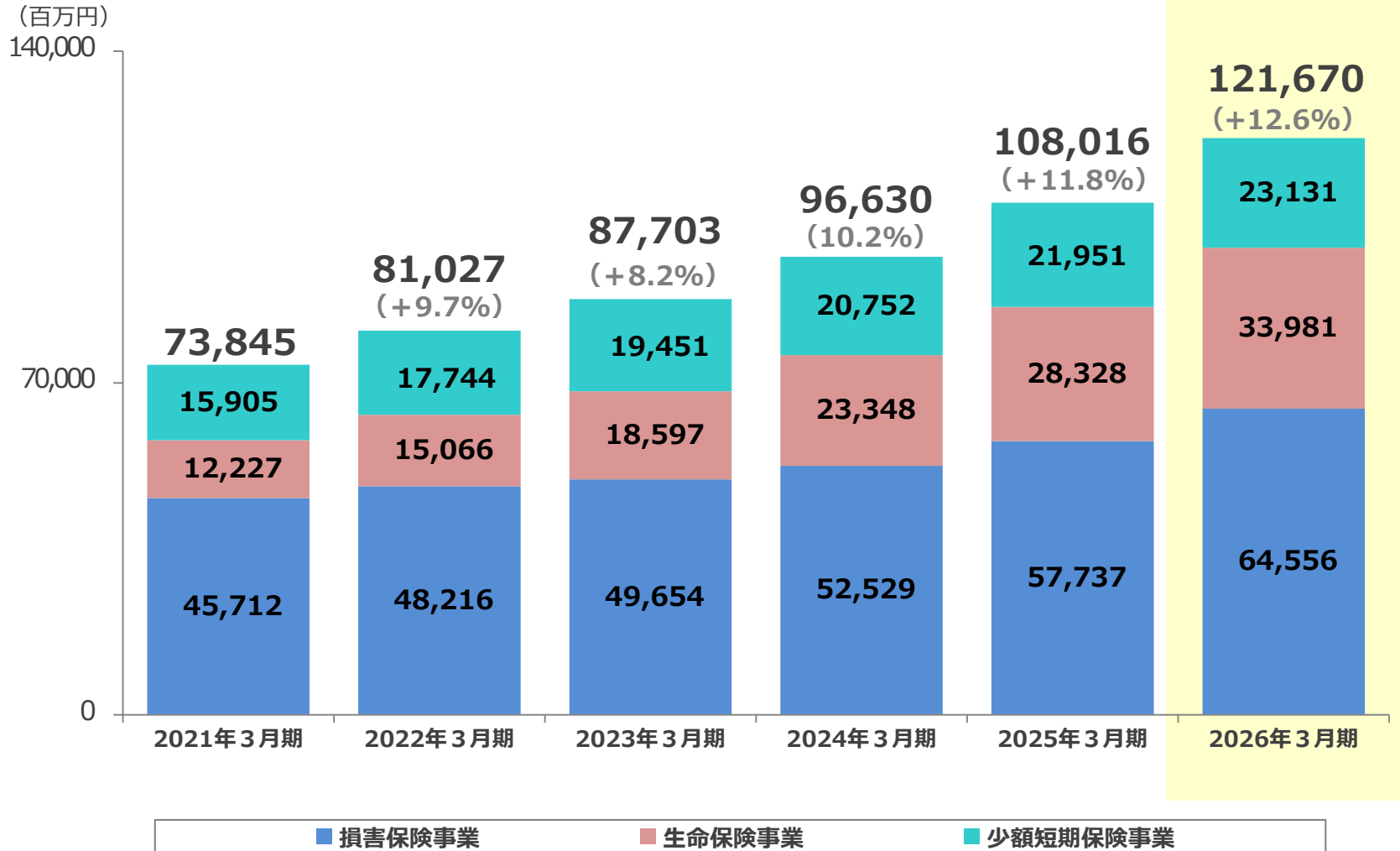
<sup>\*</sup>生命保険事業における変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益および経常費用に含めて表示することとされています。

『保有契約件数』※の推移



※損害保険事業の件数には、2022年6月末よりSBI損保の団体がん保険の被保険者数を、生命保険事業の件数には、SBI生命の団体信用生命保険の被保険者数を含めています。

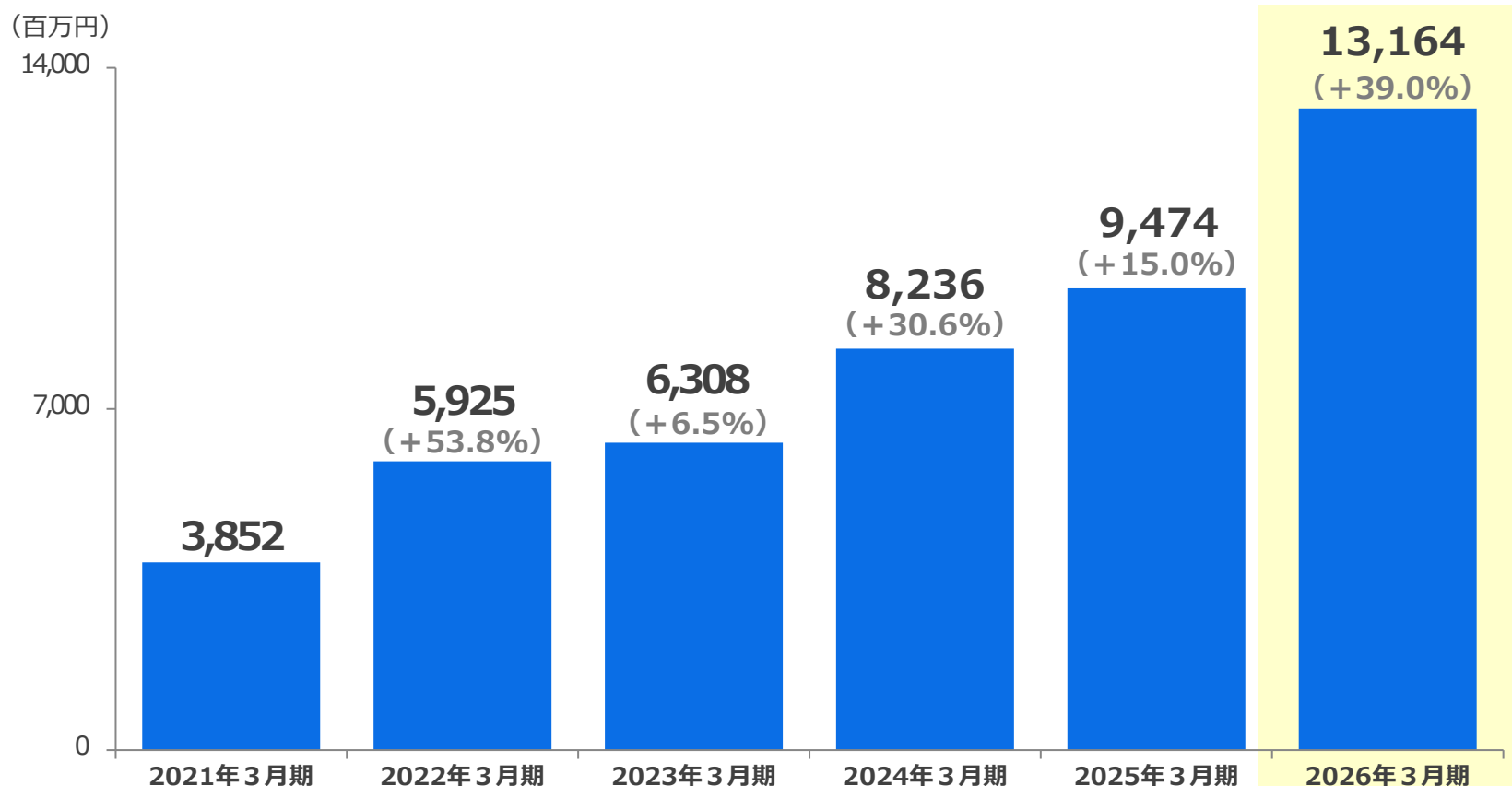
『収入保険料』※の推移



※損害保険事業は元受正味保険料の金額を、生命保険事業および少額短期保険事業は保険料収入の金額を合計して掲載しています。

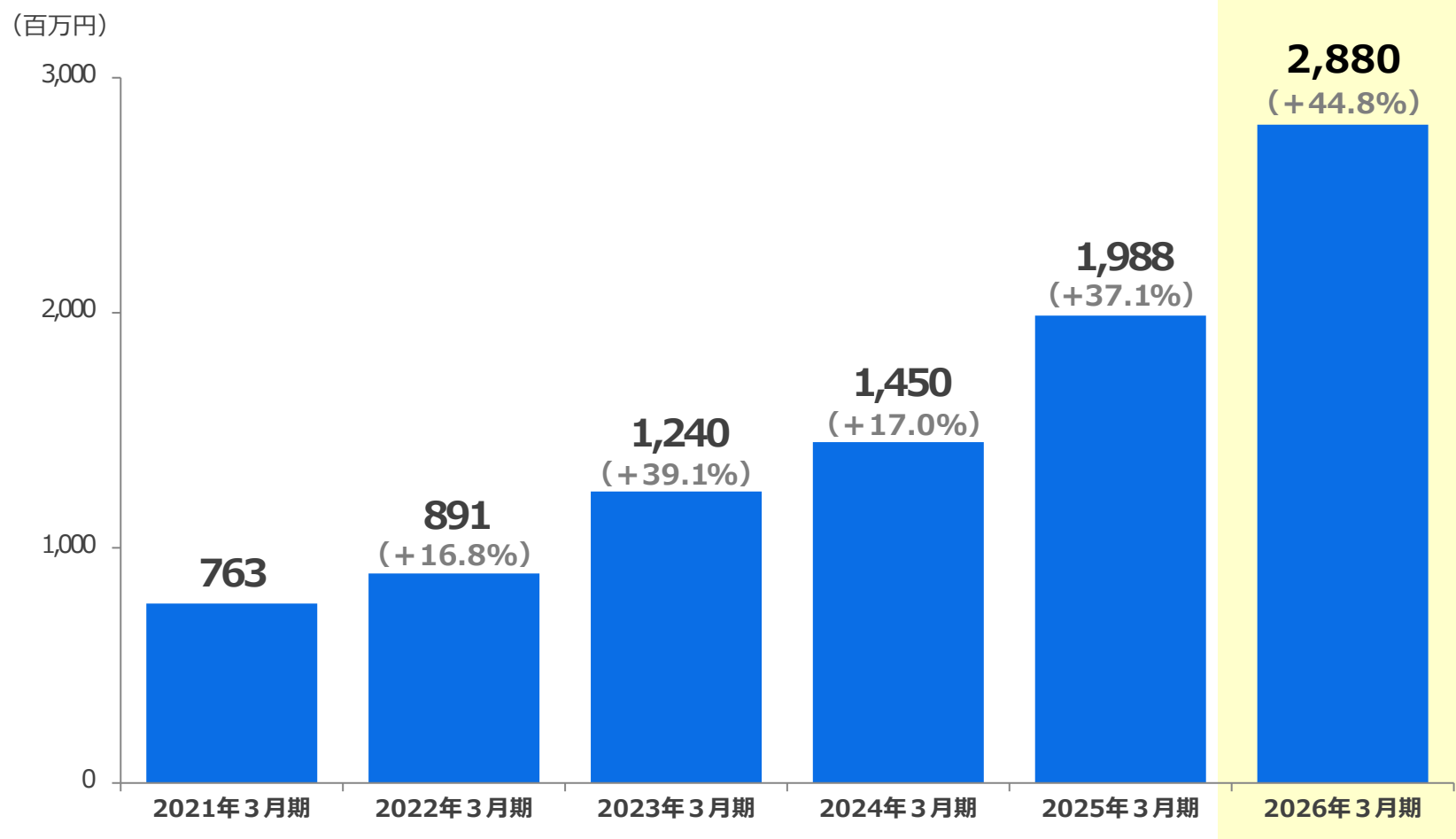
経常利益は 13,164百万円。増収効果に加え、継続的な業務効率化による収益性の向上もあり、前期比 39.0%の増加

『経常利益』の推移



親会社株主に帰属する当期純利益は、税金費用の増加があったものの、増収及び効率化効果がその影響を吸収し、2,880百万円。前期比 44.8%の増加

### 『親会社株主に帰属する当期純利益』の推移

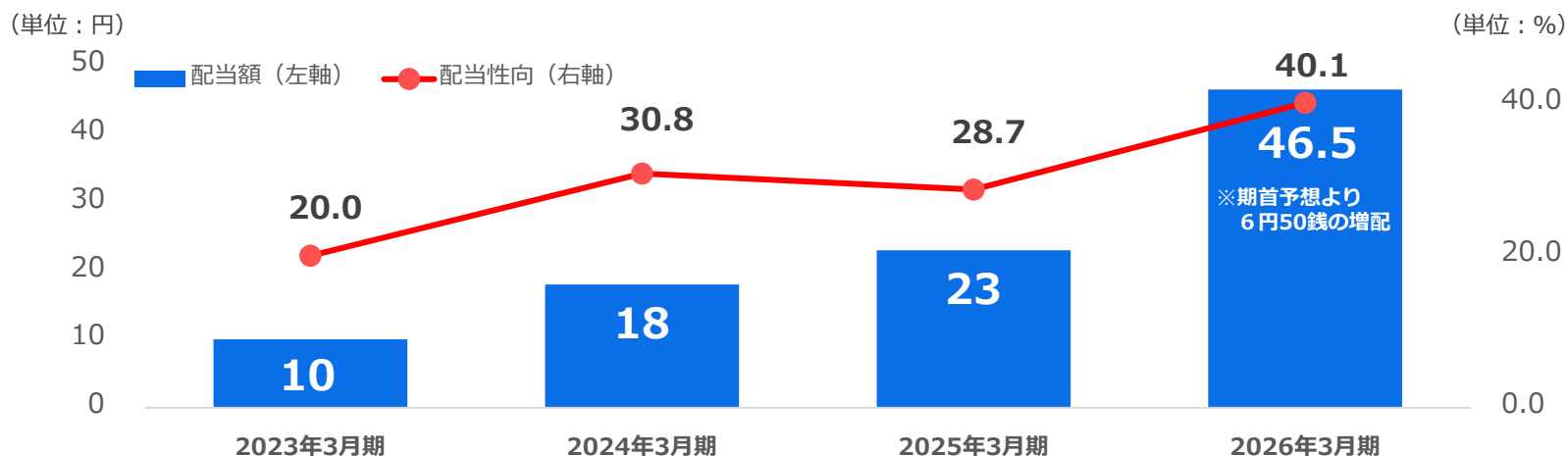


**2026年3月期は、好調な連結業績を踏まえ、期末配当予想を2度増額修正。  
 期末配当は、前期実績より23.5円、期首予想より6.5円増配の46.5円。  
 連結配当性向は40.1%**

**2026年3月期 期末配当予想（増配）**

	年間配当金	連結配当性向
期首発表予想（2025年5月8日）	40 円 00 銭	39.7%
前回発表予想（2026年1月29日）	45 円 00 銭	39.9%
今回修正予想（2026年4月27日）	46 円 50 銭	40.1%
前期実績	23 円 00 銭	28.7%

**1株当たり年間配当金と配当性向**



**SBIホールディングス(株)の税引前利益（IFRS）に含まれる当社グループの税引前利益** (単位：百万円)

	2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	増減率 (%)
損害保険事業	2,162	3,573	65.3
生命保険事業	3,434	7,084	106.3
少額短期保険事業	971	2,055	111.6
調整額	△610	△747	-
<b>税引前利益（IFRS）</b>	<b>5,957</b> (1株あたり 240円01銭)	<b>11,965</b> (1株あたり 482円08銭)	<b>100.9</b>

◆ SBIHが開示した保険事業の税引前利益から、当社グループに属さない持分法適用会社に係る投資利益を控除した金額です。

◆ IFRSでは有価証券の時価変動が損益に反映されることから、市場環境により損益が変動します。当期においては、主に生命保険事業における資産運用の特性を背景とした有価証券の公正価値評価の影響（約30億円）が税引前利益（IFRS）に含まれております。

**当社グループの税引前利益（日本基準）** (単位：百万円)

	2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	増減率 (%)
損害保険事業	1,288	2,386	85.2
生命保険事業	935	1,447	54.6
少額短期保険事業	436	1,238	183.6
調整額	△596	△763	-
<b>税引前利益（日本基準）</b>	<b>2,064</b> (1株あたり 83円18銭)	<b>4,309</b> (1株あたり 173円63銭)	<b>108.7</b>

## 本参考開示についてのご説明

当社グループは、日本において一般に公正妥当と認められた会計基準（以下「日本基準」）による決算開示を行っておりますが、当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社（以下「SBIH」）は、国際会計基準（以下「IFRS」）に基づいた連結決算開示を行っております。

保険事業においては、保険契約負債の計上基準や有価証券の分類・測定などの会計処理の違いにより、双方の会計基準間の差異が大きいため、当社グループの業績をご理解いただくための補足情報をご提供することを目的として、SBIHの連結業績（IFRS）に含まれる当社グループの税引前利益をご参考情報として掲載しております。

このIFRSの税引前利益につきましては、SBIHが定めたアカウントティングポリシーに基づいて作成されております。

なお、当社グループではIFRSの任意適用に向けた対応を当期より開始しており、30年3月期第1四半期よりIFRSに基づく連結決算開示を開始する予定です。

# 次期の連結業績予想、 配当予想



## 2027年3月期の連結業績・配当は各項目ともに過去最高金額と予想

## ＜連結業績予想、配当予想＞

(単位：百万円)

指 標	2026年3月期 (当 期)	2027年3月期 (次 期)		
	実 績	予 想	前期比増減	
経 常 収 益	140,362	150,000	9,638	+6.9%
経 常 利 益	13,164	16,000	2,836	+21.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,880	3,620	740	+25.7%
1株当たり 配当額	46円50銭	59円00銭	12円50銭	+26.9%
配 当 性 向	40.1%	40.5%	-	-

◆ 各事業の収益動向の明確化および業績見通しの透明性向上を目指し、  
2027年3月期よりセグメントごとの予想を公表。

<セグメントごとの業績予想>

(単位：百万円)

	経 常 収 益			
	2026年3月期 (当 期)	2027年3月期 (次 期)		
	実 績	予 想	前期比増減	
損 害 保 険 事 業	46,819	51,500	4,681	+10.0%
生 命 保 険 事 業	57,705	61,000	3,295	+5.7%
少 額 短 期 保 険 事 業	36,004	37,500	1,496	+4.2%
セグメント間消去又は調整	△166	-	166	-
連 結 収 益	140,362	150,000	9,638	+6.9%

<参考情報>

	特別勘定にかか <sup>*</sup> る収益を除いた経常収益			
	実 績	予 想	前期比増減	
生 命 保 険 事 業	52,947	61,000	8,053	+15.2%

※生命保険事業における変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する 特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。  
特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益および経常費用に含めて表示することとされています。

<セグメントごとの業績予想>

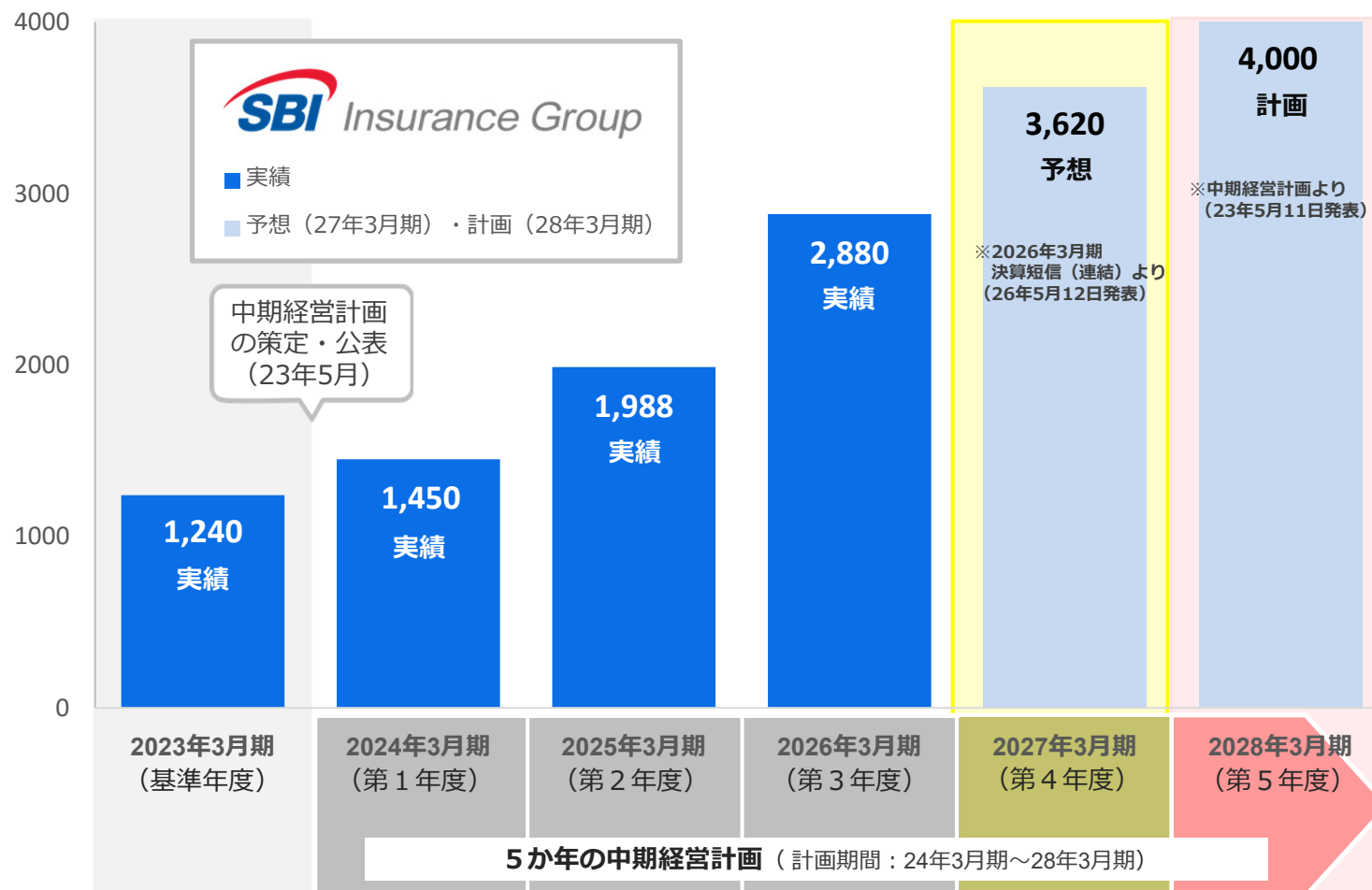
(単位：百万円)

	セグメント利益（親会社株主に帰属する当期純利益）			
	2026年3月期 （当期）	2027年3月期 （次期）		
	実績	予想	前期比増減	
損害保険事業	2,015	2,460	445	+22.0%
生命保険事業	975	1,180	205	+20.9%
少額短期保険事業	656	890	234	+35.6%
セグメント間消去又は調整	△767	△910	△143	-
連結損益	2,880	3,620	740	+25.7%

# 中期経営計画 最終年度（28年3月期）の数値目標である 親会社株主に帰属する当期純利益 40億円の達成に向けて順調に推移

親会社株主に帰属する当期純利益（連結ベース、実績・予想・計画）

（単位：百万円）



# セグメントごとの経営成績



- ◆ 経常収益は3事業ともに増加
- ◆ 生命保険事業の構成比は、保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、3.7ポイント上昇

## 経常収益（報告セグメント別）

（単位：百万円）

	2025年3月期 (2024年4月～2025年3月)		2026年3月期 (2025年4月～2026年3月)		対前期 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
損害保険事業	40,436	34.1%	46,819	33.3%	15.8%
生命保険事業	44,383	37.4%	57,705	41.1%	30.0%
少額短期保険事業	33,849	28.5%	36,004	25.6%	6.4%

- ◆ 増収効果によりすべての事業でセグメント利益が増加
- ◆ 少額短期保険事業は、増収効果に加え、業務効率性向上による費用低減の取り組みが寄与し、セグメント利益が大きく伸長

## セグメント利益

(親会社株主に帰属する当期純利益ベース)

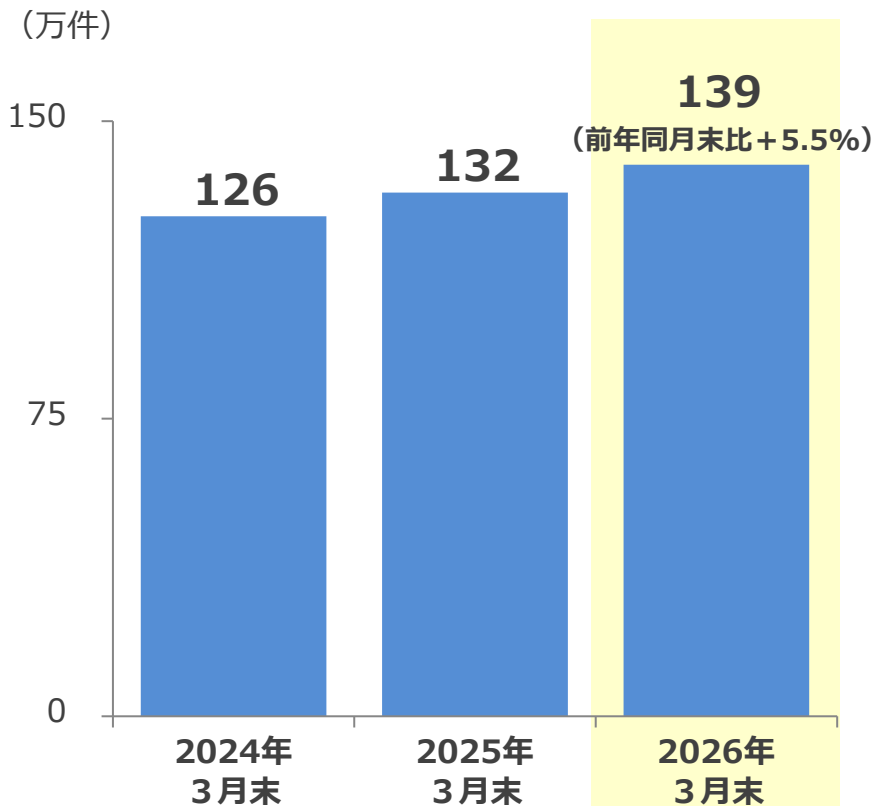
(単位：百万円)

	2025年3月期 (2024年4月～2025年3月)		2026年3月期 (2025年4月～2026年3月)		対前期 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
損害保険事業	1,552	59.9%	2,015	55.3%	29.8%
生命保険事業	807	31.2%	975	26.7%	20.8%
少額短期保険事業	230	8.9%	656	18.0%	184.3%

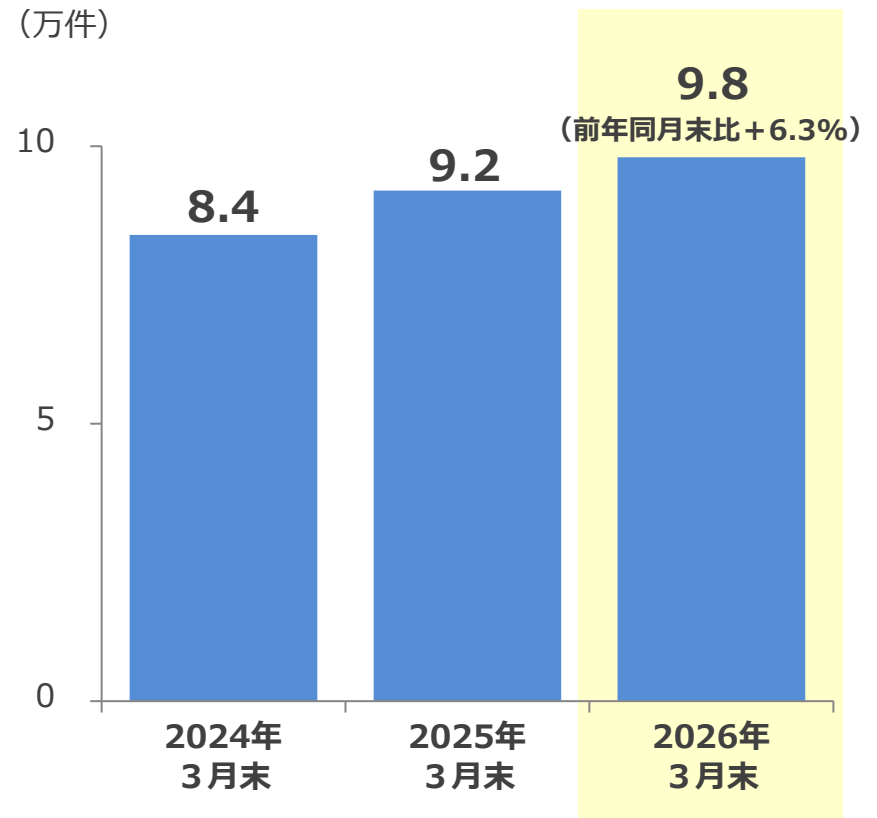


- ◆ 保有契約件数は、前年同月末比 5.5%の増加
- ◆ 実額補償型のがん保険は、同 6.3%の増加

### 保有契約件数（全種目）



### 保有契約件数（がん保険）

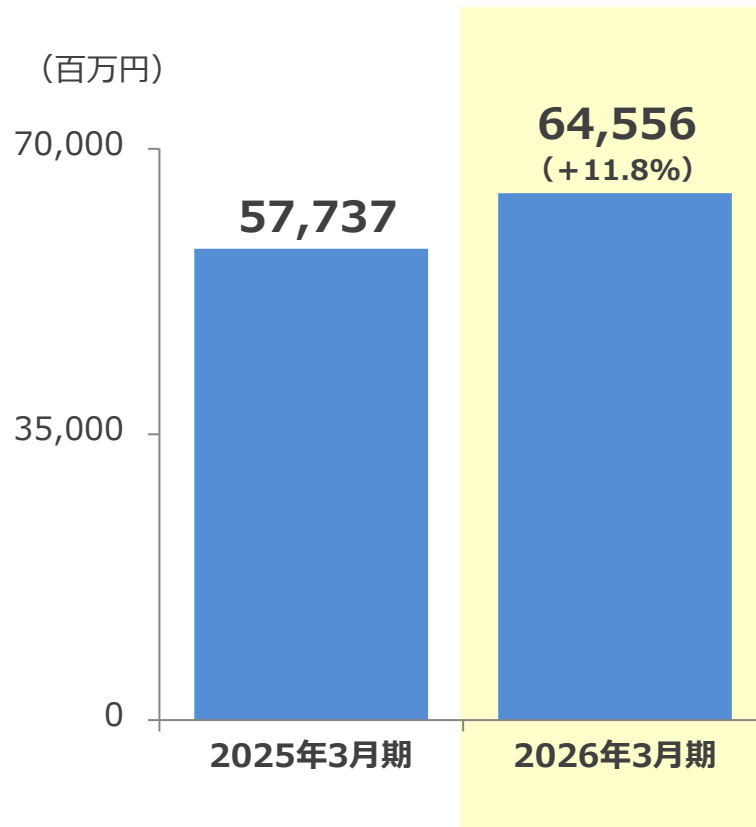


※がん保険の保有契約件数には、団体がん保険の被保険者数を含んでいます。

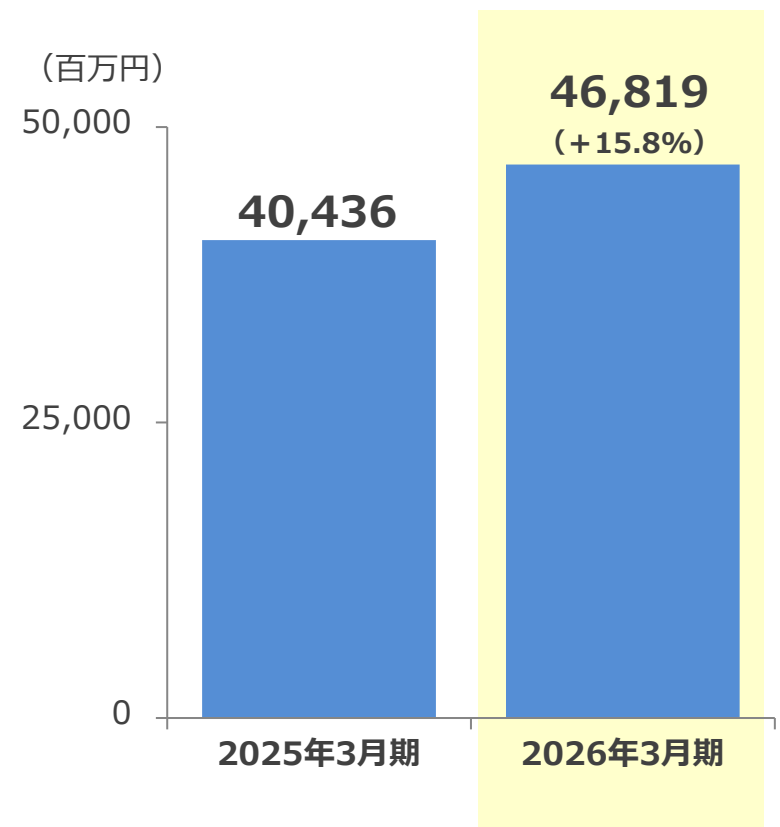
SBI GROUP **SBI損保**

- ◆ 元受正味保険料は、保有契約件数の堅調な増加などにより、前期比 11.8%の増加
- ◆ 経常収益は、保険料の増収により、同 15.8%の増加

**元受正味保険料**



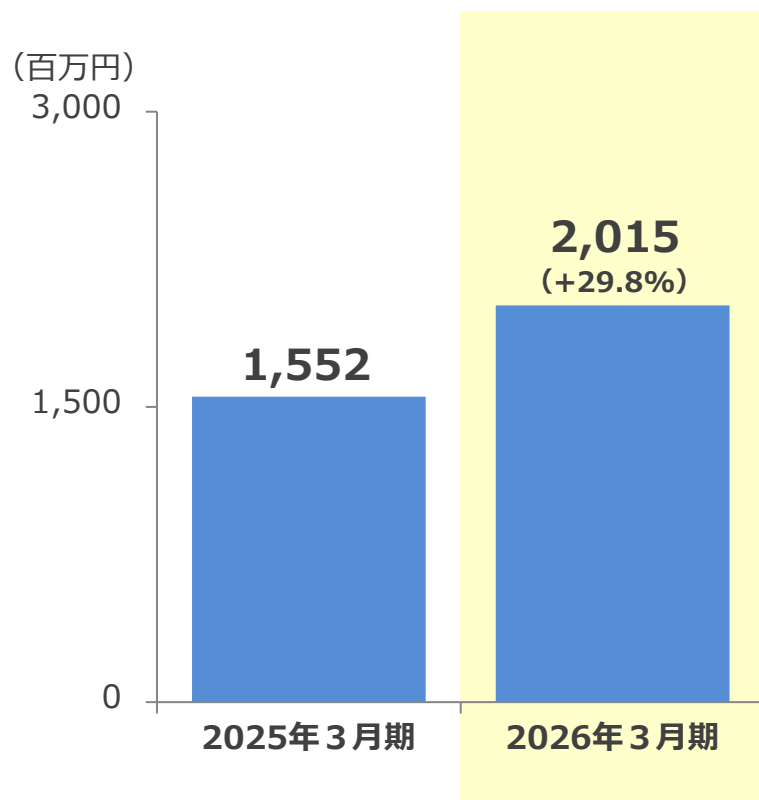
**経常収益**



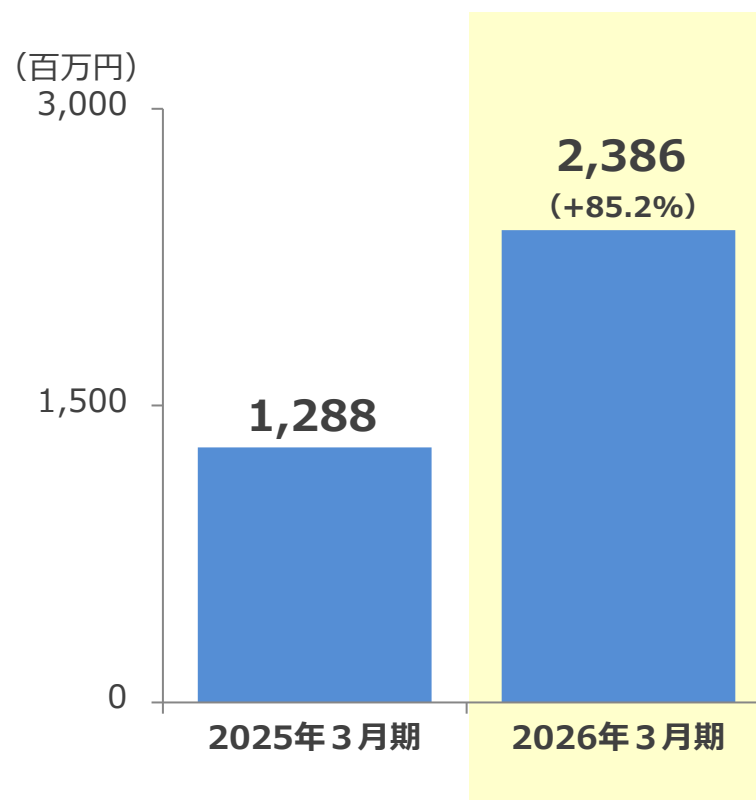


- ◆ セグメント利益は、税金費用が増加したものの、着実な増収に加え、業務効率化の取り組みが奏功し、前期比 29.8%の増加

## セグメント利益



## 【参考】セグメント税引前当期純利益





- ◆ 保険料見直しに伴う収入保険料の上昇が寄与し、  
正味事業費率は、1.5ポイントの低下
- ◆ コンバインド・レシオは、1.5ポイントの低下

## コンバインド・レシオ (SBI損保単体)

(単位：%)

	2025年3月期 (2024年4月~2025年3月)	2026年3月期 (2025年4月~2026年3月)
正味損害率	73.3%	73.3%
正味事業費率	17.9%	16.4%
コンバインド・レシオ	91.2%	89.7%

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

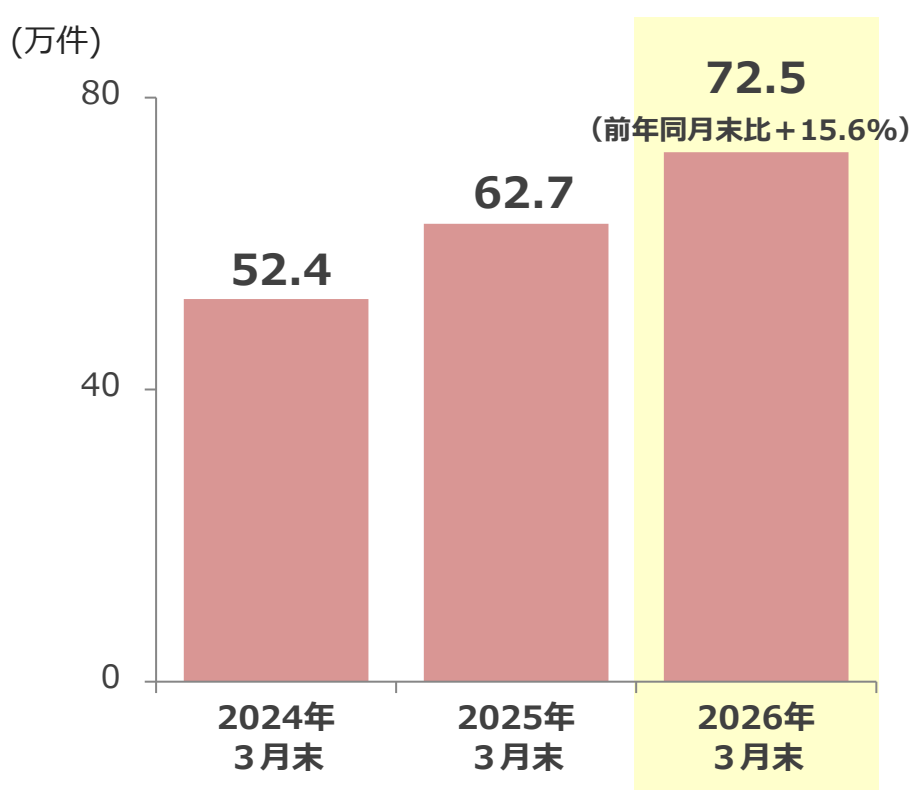
.....

.....

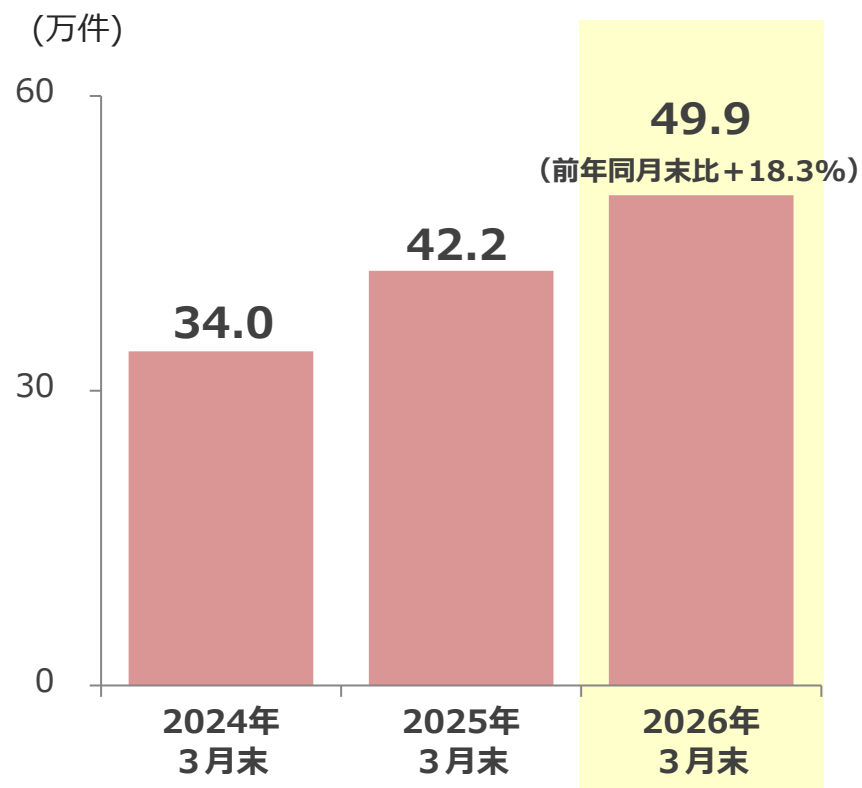


- ◆ 保有契約件数は、前年同月末比 15.6%の増加
- ◆ 団信の保有契約件数は、同 18.3%の増加

## 保有契約件数（全種目）



## 保有契約件数（団信）

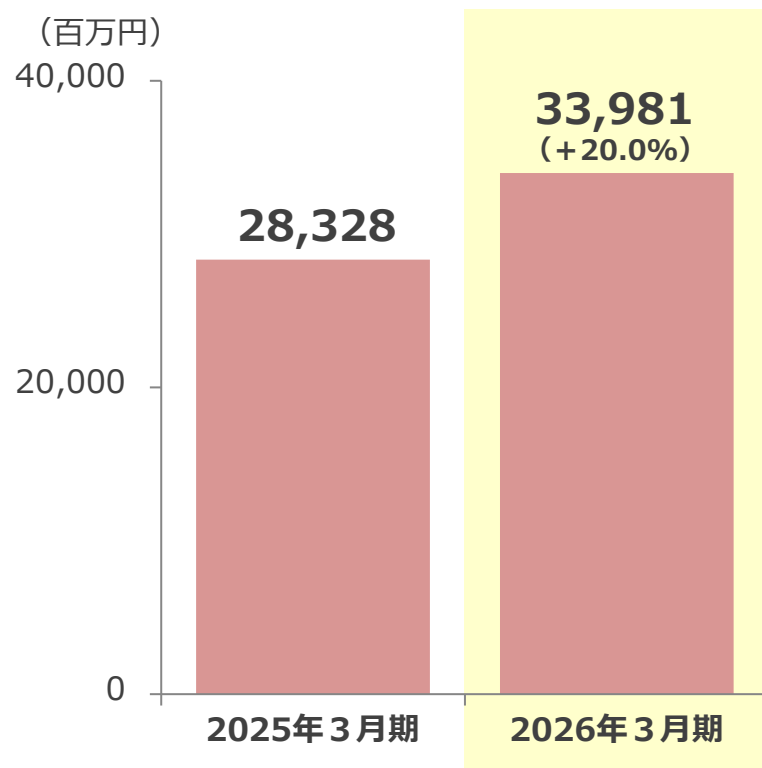


※団体信用生命保険については、被保険者数を保有契約件数として表示しています。

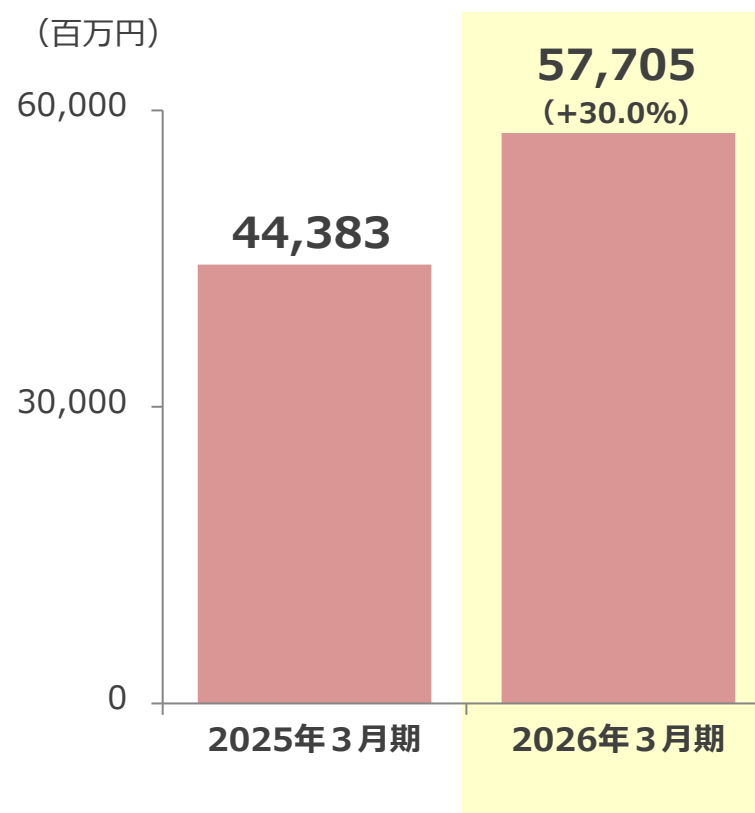


◆ 保有契約件数が順調に増加したことが要因となり、  
保険料収入は前期比 20.0%、経常収益は 30.0% の増加

## 保険料収入



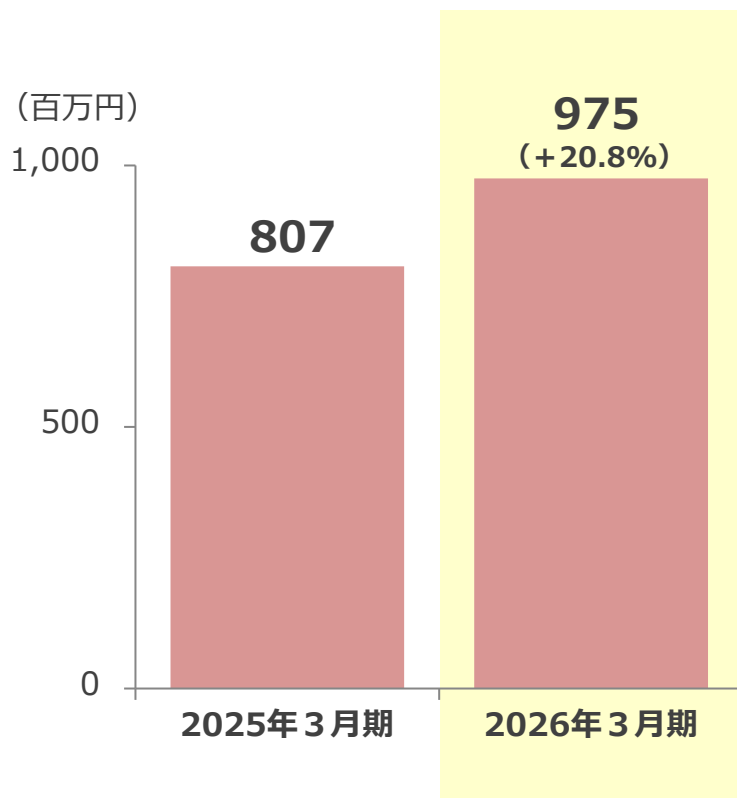
## 経常収益



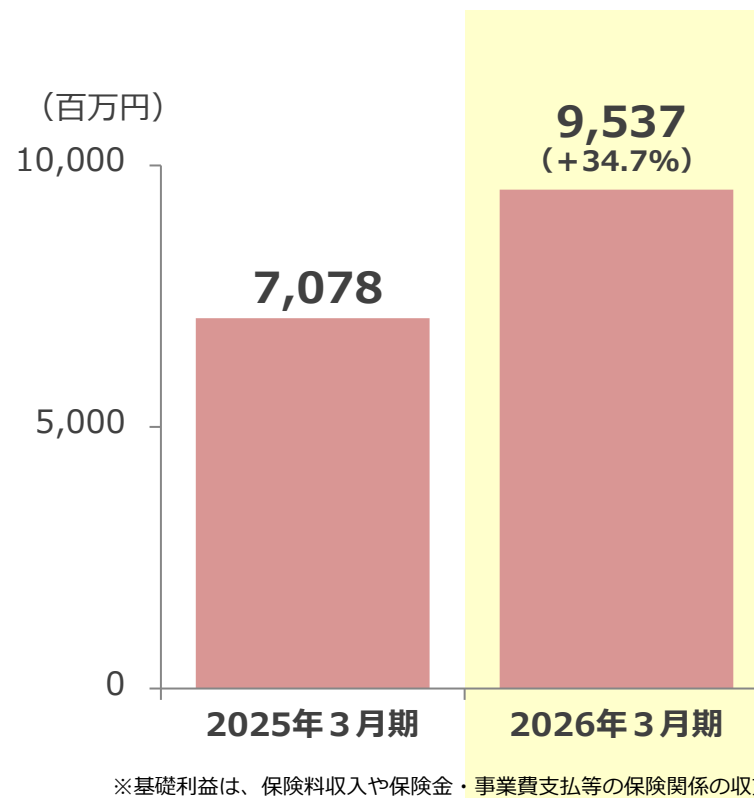


◆ セグメント利益は、前年に一過性の要因として計上した政策保有株の売却益等が当期にはないものの、着実な増収と継続的な業務効率化に伴う基礎利益の伸長により、前期比20.8%の増加

## セグメント利益



## 基礎利益<sup>※</sup>

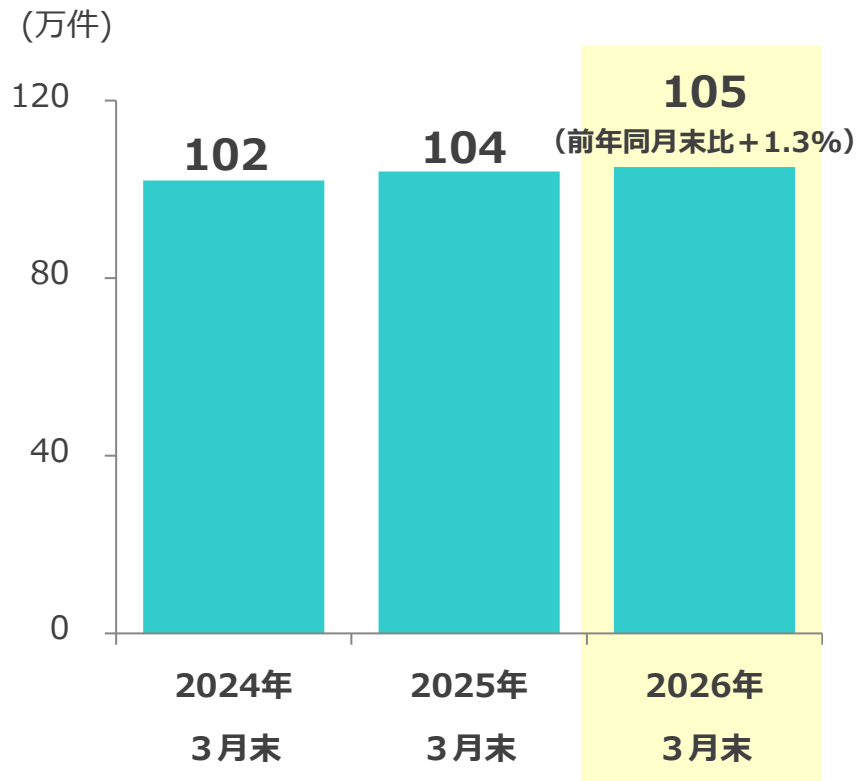


※基礎利益は、保険料収入や保険金・事業費支払等の保険関係の収支と利息及び配当金等収入を中心とした運用関係の収支からなる生命保険会社の基礎的な期間損益の状況を表す指標です。

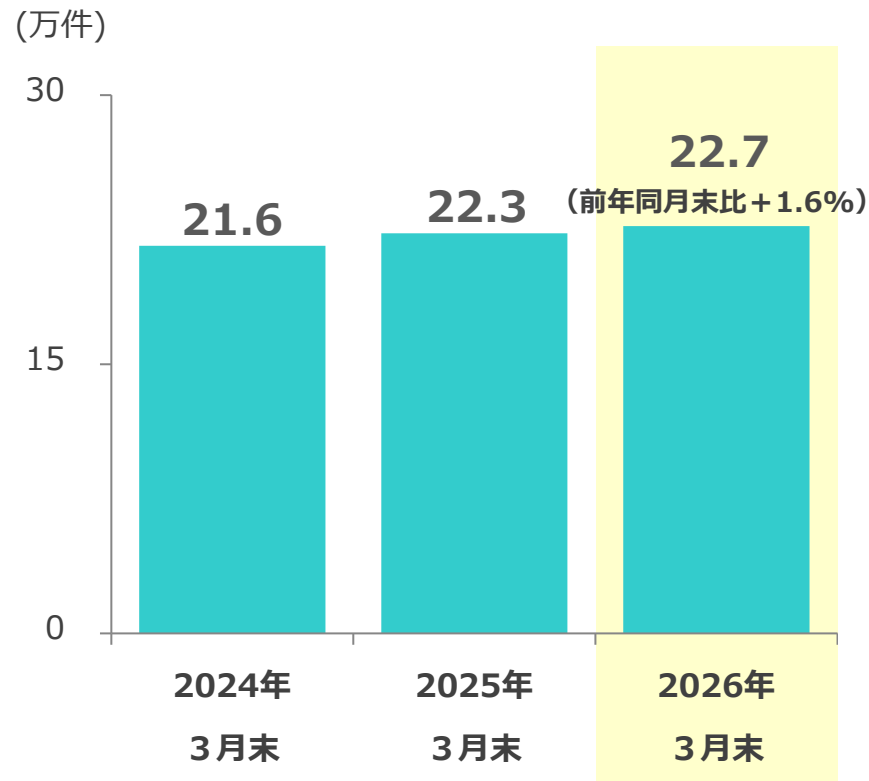


- ◆ 保有契約件数は、前年同月末比 1.3%の増加
- ◆ ペット保険は、同 1.6%の増加

## 保有契約件数（全種目）



## 保有契約件数（ペット保険）\*

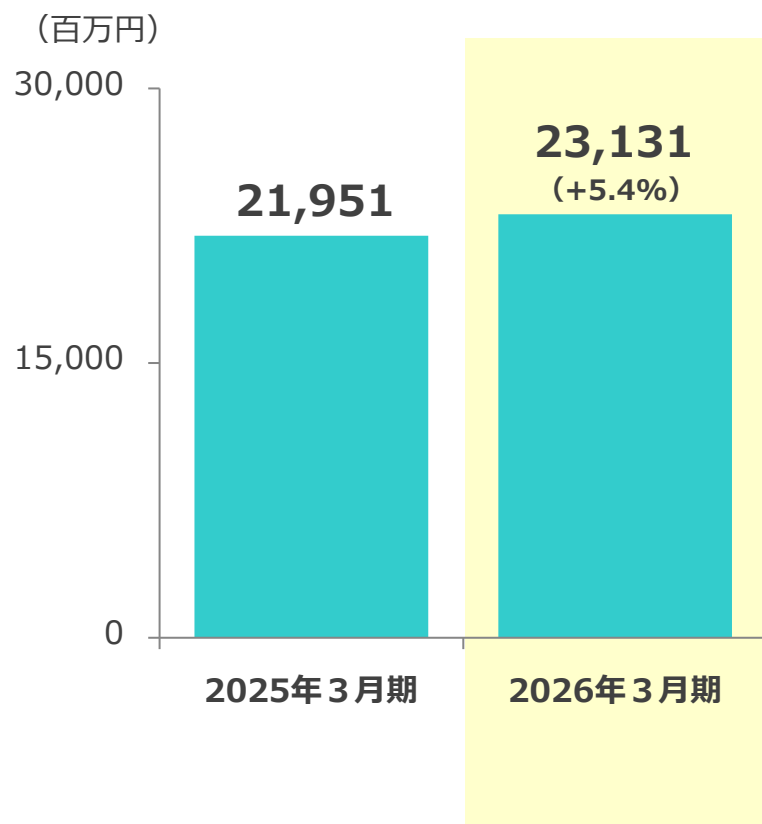


\*SBIペット少短とSBIプリズム少短が取り扱うペット保険の保有契約件数合計

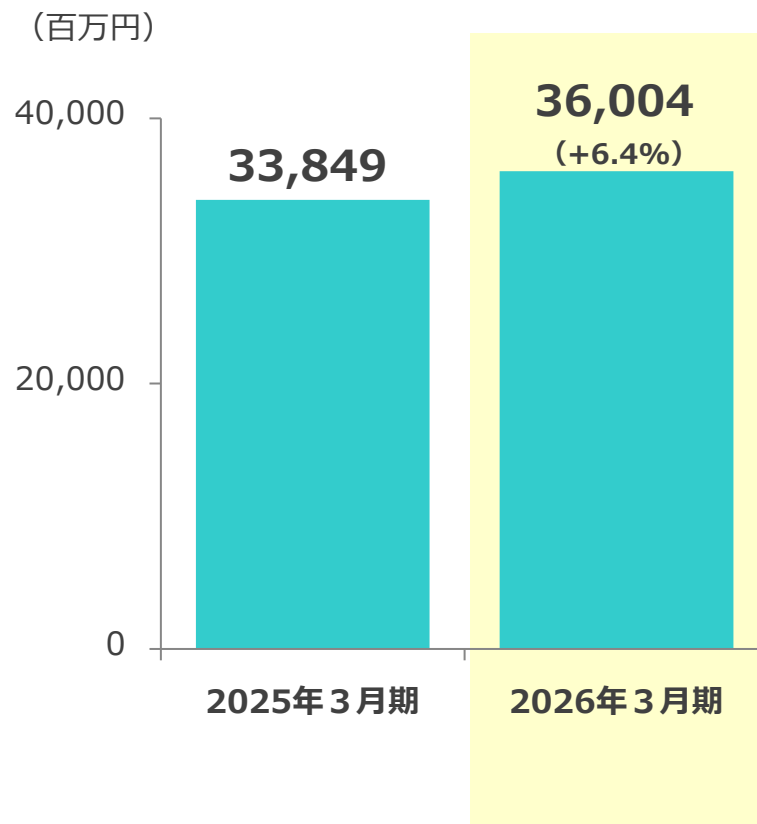


- ◆ 保険料収入は、保有契約件数の堅調な増加により、前期比 5.4%の増加
- ◆ 経常収益は、同 6.4%の増加

### 保険料収入



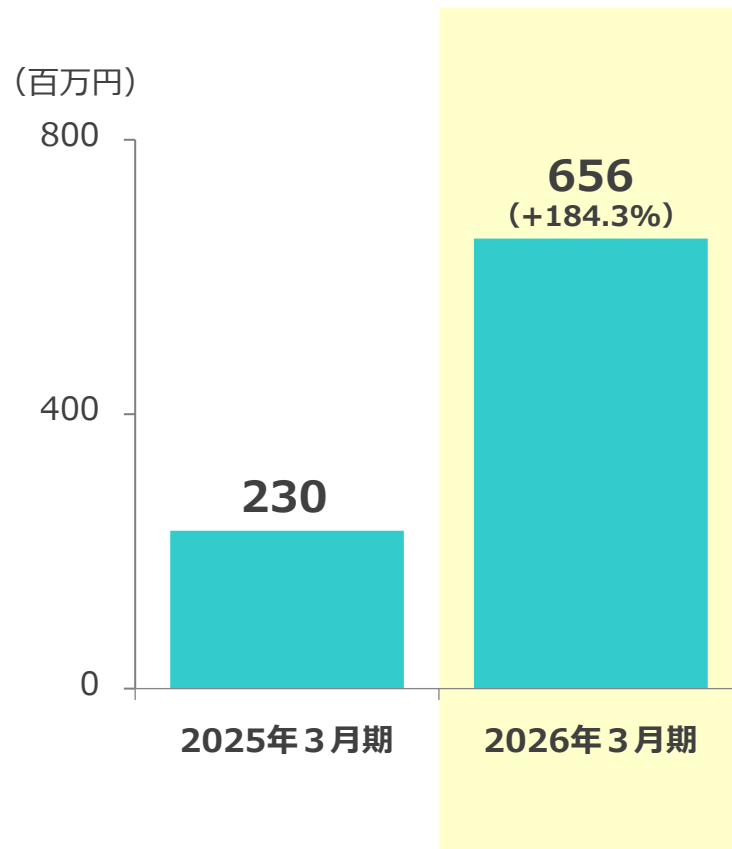
### 経常収益





◆ セグメント利益は、増収効果に加え、業務の効率性向上による費用低減の取り組みが寄与し、184.3%増益の656百万円

## セグメント利益



## コンバインド・レシオ

(単位：%)

	2025年3月期 (2024年4月~2025年3月)	2026年3月期 (2025年4月~2026年3月)
正味損害率	51.7%	47.1%
正味事業費率	39.6%	31.8%
コンバインド・レシオ	91.3%	78.9%

※ 損害保険事業に準じて算出しております。



**SBI インシュアランスグループ株式会社 2026年3月期決算の概況**

# 事業トピックス



**ビッグデータ・AIなどの最新テクノロジーを駆使したローコスト・オペレーションを実現。これに裏付けられた低価格の保険を、成長を続けるSBIグループの顧客基盤を通じて、多くのお客さまにご提供**

## テクノロジー



最新テクノロジーを事業に取り込むことにより、更なる保険料の引き下げや高付加価値商品の開発を目指しています。

## 価格競争力



同業他社よりもさらに低価格な保険料の設定にチャレンジ。ビッグデータを活用したコスト削減や効率的な顧客アプローチにより、非常に低い事業費率を実現しています。

## グループシナジー



SBIグループの顧客基盤へのアプローチが可能。SBIインシュアランスグループ内でも各事業会社の顧客基盤を相互利用しています。



**エッジの効いた商品・サービスを提供。  
各種メディアの保険商品ランキングに  
当社グループの商品がランクイン**

外部機関からの評価



会社	商品	受賞名
<b>SBI損保</b>	自動車保険	価格.com 自動車保険 満足度ランキング2026「総合満足度」第1位（4回目）、「保険料満足度」第1位（3年連続15回目）、「補償内容満足度」第1位（初受賞）※1
	がん保険	2026年 オリコン顧客満足度®調査 定期型がん保険（FP評価）総合1位（5回目）※2
	定期保険	2026年 オリコン顧客満足度®調査 定期型生命保険（FP評価）総合1位（2回目）※3
	就業不能保険	価格.com保険アワード2026年版「就業不能保険の部」第1位（2回目）※4
	医療保険	保険市場「2026年版 最も選ばれた保険ランキング」第1位（3年連続）※5
	地震補償保険	2025年11月発行「NEWよい保険・悪い保険2026年版」少額短期保険ランキング 第1位
	ペット保険	2025年 オリコン顧客満足度®調査 ペット保険（FP評価）総合1位 ※6

※ 1：2025年4月から同年11月に価格.comを利用した方のなかで、調査時点において自動車保険（任意保険）に加入している、もしくは事故時等に保険会社に連絡をしたことのある方（回答者数4,781件）から得た回答に基づきランキングを発表しています。  
 ※ 2：定期型がん保険5商品からファイナンシャルプランナー40名を対象に、株式会社oricon MEが実施した調査です。  
 ※ 3：調査期間は2025年9月11日～2025年9月30日。定期型生命保険：6商品が対象。  
 ※ 4：総合保険比較サイト「価格.com保険」内掲載保険商品を対象に2025年1月1日～12月31日の1年間で契約数・申込数の多かった保険商品を保険種目別に発表する年間ランキング。対象商品5種類。  
 ※ 5：保険選びサイト「保険市場」における資料請求件数や申込件数をもとに、お客さまに最も選ばれた上位3商品をカテゴリー別にランキング。  
 ※ 6：ペット保険を提供する13社について、ファイナンシャルプランナー40名を対象に株式会社oricon MEが実施した調査です。

デジタル技術を適切に活用した商品・サービスの提供を通じて、お客さまに一層満足いただける価値を創出



ダイレクト型損保初の降雹に関する予測モデルを独自開発



- 自動車保険ご契約者様へ、本予測モデルを活用したアラートメールを配信し事前対策につなげる
- 2025年3月よりP o C（概念実証）を実施、一定の精度確認をもって2026年3月よりサービス開始、降雹に対する防災・減災を支援

<2025年4月>

SBI GROUP SBI損保 × MS&AD  
MS&AD インターリスク総研

- ・ S B I 損保とMS&ADインターリスク総研で、気象ビッグデータと自動車保険における過去の雹災害データをもとに雹災害発生予測モデルの構築および精度検証を目的とした概念実証（P o C※1）を実施
- ・ 降雹予測モデルの独自開発はダイレクト損保で初めて※2

<2026年3月～>

■ サービス概要（アラートメール配信までの流れ）

降雹予測

本モデル開発・運用会社

気象データをもとに全国各地域の翌日の降雹リスクを予測。

降雹予測アラートメールの配信

SBI GROUP SBI損保

降雹予測データをもとに対象地域にお住まいの自動車保険ご契約者さまへアラートメールを配信。

メールの受信・お車の対策

ご契約者さま

夕方頃にアラートメールを受信。翌日の降雹に備え事前の対策を実施。

※1 : Proof of Concept  
 ※2 : 2025年4月25日時点 S B I 損保調べ



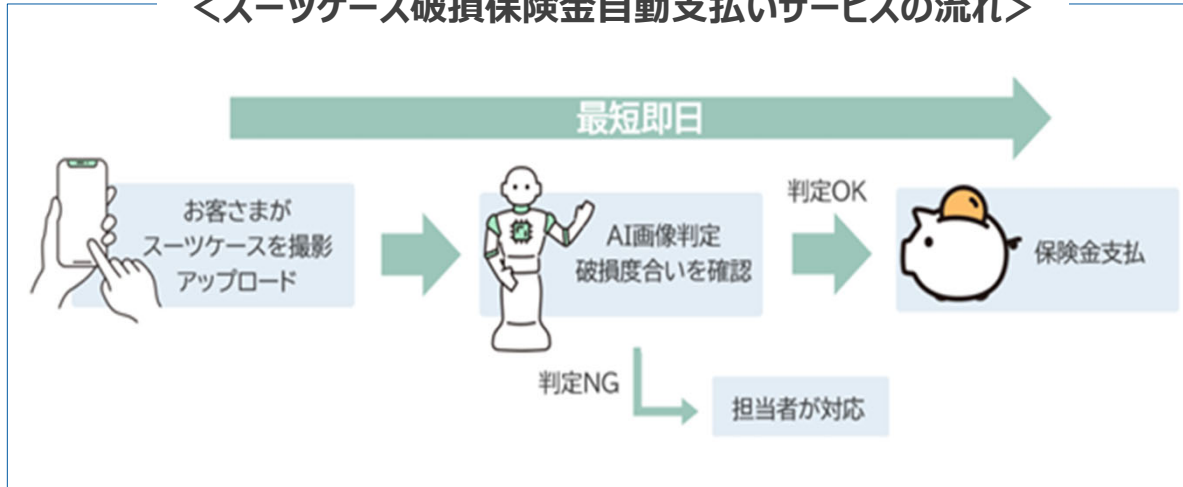
# AIを含めたテクノロジーを活用し、顧客体験価値向上に資するサービスを提供

## スーツケース破損保険金自動支払いサービスを開始



- 「SBI損保の海外旅行保険」における破損したスーツケースへの保険金支払いについて、お客さまに撮影いただいたスーツケース画像をAIが読み取り、破損の有無と状態を自動判定
- 担当者による損害確認や支払手続きなどの作業が不要になることで、これまで最短3日かかっていた保険金支払いを最短即日で行うことが可能に

＜スーツケース破損保険金自動支払いサービスの流れ＞



- 地域金融機関Webサイト上でも「SBI損保の海外旅行保険」の取扱いを開始

- ・福島銀行  
…2025年12月22日～
- ・島根銀行  
…2026年2月27日～



# お客様の「生命保障」と日々の「暮らしの安心」を同時に得られる新たな仕組みを実現

## 全団協※1加盟の金融機関を通じた新付帯サービスの導入

テクノ  
ロジー

価格  
競争力

グループ  
シナジー

- 全団協加盟の金融機関を通じてSBI生命の団体信用生命保険に加入された被保険者・その同居人に対し、(株)ヴァンガードスミスが提供する「近隣トラブル解決支援サービス(Pサポ)」を無料で提供
- Pサポでは、元警察官が専門相談員として「騒音」「迷惑行為」「嫌がらせ」など事件未済のトラブルを解決支援。「気になる」の段階から何度でも相談ができ、成功報酬や追加請求は一切なし

### <トラブル解決支援の流れ>



※ 1 : 一般社団法人全国団信推進協会



商品・サービスの充実に努めるとともに、  
グループシナジーを活かした取り組みを拡大

SBI 新生銀行住宅ローンに「全疾病保障付団信」を付保



- 2026年3月2日より、SBI 新生銀行の住宅ローンにSBI 生命が提供する就業不能保障特約付き団体信用生命保険（商品名：全疾病保障付団信）を付保する取扱いを開始
- お客さまの「さまざまな病気・ケガによる収入減少の不安」「将来の返済に対する備え」へのニーズの高まりを背景に、全ての病気・ケガによる就業不能状態に対応する「全疾病保障付団信」を、住宅ローンの金利上乗せなどをすることなく、お客さまのご負担はゼロにて付保

<商品概要>

項目	内容	
年齢条件	借入時年齢：20歳以上 50歳未満 完済時年齢：80歳未満	
金利上乗せ	なし	
団信保障内容	事由	支払額
	死亡 または所定の高度障害状態に該当 余命6カ月以内（リビングニーズ） または重度のがんと判断された場合	住宅ローン残高相当額
	がんを含む8疾病による就業不能状態	・月々の住宅ローン返済額（免責期間：なし） ・就業不能状態が12カ月継続した場合、住宅ローン残高相当額
	8疾病以外のすべての病気やケガによる就業不能状態	・月々の住宅ローン返済額（免責期間：3カ月） ・就業不能状態が24カ月継続した場合、住宅ローン残高相当額



# AI 技術の活用領域を拡大し、お客様にご満足いただけるサービスを提供

## 宮崎ビジネスセンターにおける「対話型 AI オペレーター」導入

テクノロジー

価格競争力

グループシナジー

- 宮崎ビジネスセンターの電話対応業務において「対話型 AI オペレーター」を本導入
- 従来の定型的なボイスポットとは異なり、生成 AI がお客さま一人ひとりの状況に応じて柔軟に会話を展開することができ、自然な対話を実現

### < AI エージェント型ボイスポットの聞き取りイメージ >

生成AIの新たな活用: シニア世代に寄り添う、誰も取り残さないAIをめざして

状況を判断し、AIが寄り添う対応に変更する

言葉が出てくるのに時間がかかる場合



顧客

えーと、047の  
なんだったかな？

123の

56●●です

ご登録のお電話番号を教えてください

※ 過去のボイスポットは、この質問を繰り返すだけ

ありがとうございます  
市外局番は、047ですね  
つづきの番号をお願いいたします

ありがとうございます  
市外局番047につづいて123ですね  
最後の番号を教えてください



AI エージェント型  
ボイスポット



## 保険のデジタル化を通じたサービスの拡充に 努め、CX※1とAX※2の向上を目指す

### 日本郵便が公開したシステムを事故受付フォームに実装

テクノ  
ロジー

価格  
競争力

グループ  
シナジー

- 事故受付や各種申し込みフォーム における住所入力において、日本郵便が公開した「デジタルアドレス・郵便番号API」の実装を完了
- 本導入により、保険金請求時の住所確認作業や入力エラーといった社内業務の工数削減に寄与し、保険金支払いまでのリードタイム短縮、契約者の満足度向上、業務全体の効率化につなげる

#### <事故受付フォームへの実装部分>

#### 対象物件および対象物件所在地

##### ■ 建物の種類

必須

集合住宅・ビル・マンション

戸建て

##### ■ デジタルアドレス

ABC12D6

※ ハイフンは不要です

※ デジタルアドレスを登録されている方は住所の自動入力ができます

※ 1 : Customer Experience

※ 2 : Agent Experience

# 参 考 资 料



# 株主還元策の一環として、新たに株主優待制度を導入（2025年10月29日発表） 安定的な配当とグループ理解促進型の株主優待による総合的な株主還元を推進

## ＜株主優待導入の目的＞

- (1) 個人投資家からの認知度・投資魅力の向上
- (2) 暗号資産「XRP」やSBI VCTトレードの口座開設を通じたSBIグループへの理解促進

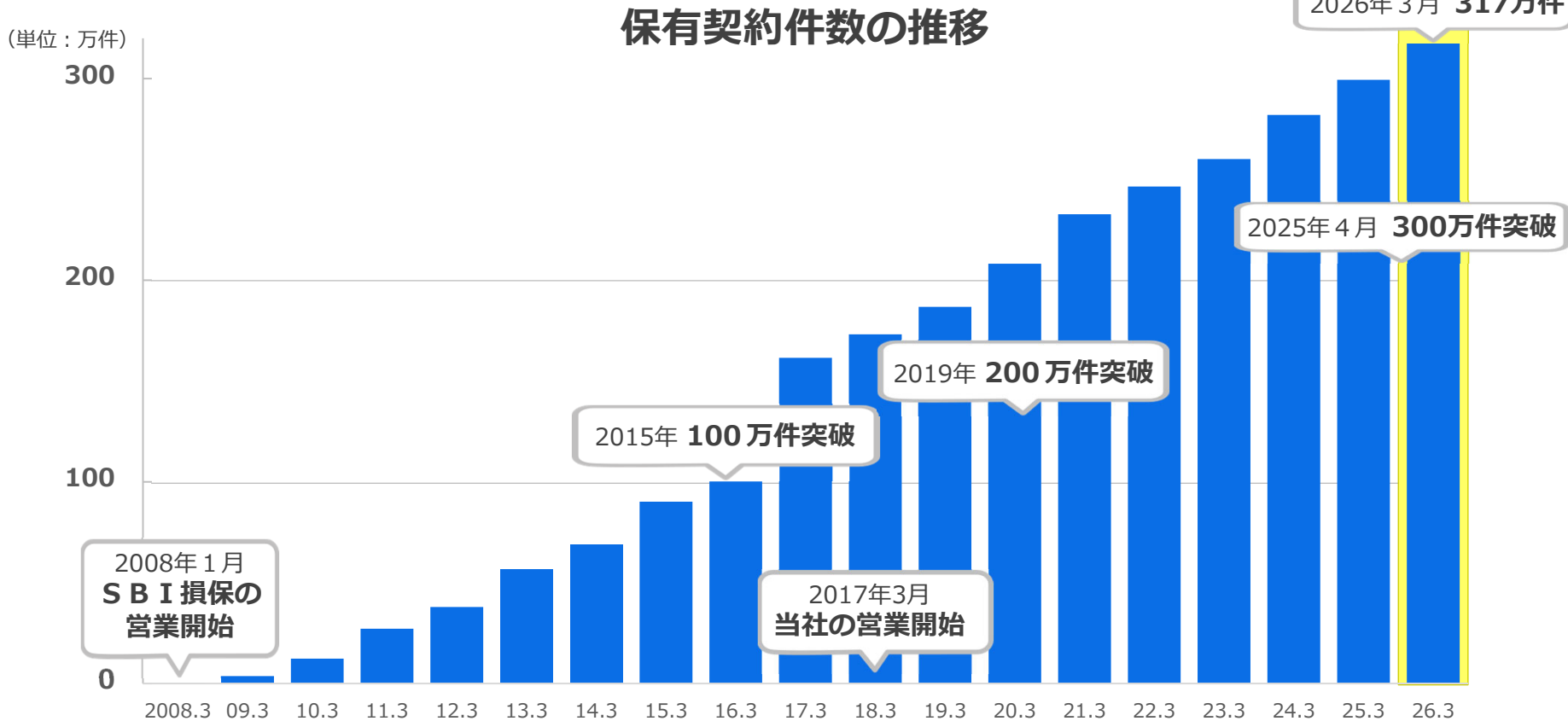
保有株式数	継続保有期間	内容
100株（1単元）以上 500株（5単元）未満	-	2,500円相当のXRPを進呈
500株（5単元）以上	2年未満	10,000円相当のXRPを進呈
	2年超	12,000円相当のXRPを進呈

## 暗号資産「XRP」（エックスアールピー）とは

当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社が出資するRipple Labs Inc.（本社：米国カリフォルニア州サンフランシスコ）が関与する次世代の金融サービス領域において活用される暗号資産が「XRP」です。Ripple社とSBIホールディングスは緊密な協力関係を維持しており、2016年には両社の合併会社「SBI Ripple Asia」を設立し、日本およびアジア地域におけるブロックチェーン基盤のクロスボーダー決済や次世代金融サービスの発展に取り組んでいます。



**事業規模を飛躍的に拡大。**  
**当社グループの保有契約件数合計<sup>※1</sup>は、**  
**317万件に増加。300万件突破後も堅調**



※1 当社はSBIグループの保険事業を統括する保険持株会社として2017年3月に営業を開始いたしましたが、当社の各子会社は当社の営業開始前から営業活動を行っているため、上記グラフでは、各子会社のSBIグループ加入後（当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の子会社となって以後）の保有契約件数を表示しています。  
 ※2 損害保険事業の保有件数には2022年6月よりSBI損保の団体ががん保険の被保険者数を、生命保険事業の保有契約件数には、SBI生命の団体信用生命保険の被保険者数を含めています。



全国の金融機関との提携交渉を推進。  
2026年3月末時点で、**合計132機関**で  
S B I 生命の団信の販売が開始・決定済み

■ S B I 生命の団信は、地域金融機関等による住宅ローン事業の収益性向上に貢献できる商品



### 提携金融機関等

アルプス中央信用金庫  
飯田信用金庫  
池田泉州銀行  
上田信用金庫  
沖縄銀行  
かながわ信用金庫  
川崎信用金庫  
北九州銀行  
北日本銀行  
協栄信用組合  
島根銀行  
住信SBIネット銀行  
諏訪信用金庫  
西武信用金庫  
仙台銀行

東濃信用金庫  
豊田信用金庫  
長野信用金庫  
浜松いわた信用金庫  
飯能信用金庫  
福島銀行  
松本信用金庫  
もみじ銀行  
山口銀行

その他の提携先金融機関さま（※五十音順）

<SBIグループ各社>  
SBI新生銀行  
SBIアルヒ  
SBI新生アセットファイナンス

## 事業関連の主なニュースリリース（1/3） [2026年1月～2026年3月]

発表日	事業会社	表題
1/05	SBI損保	「SBI損保のがん保険」がオリコン顧客満足度®調査「定期型がん保険（専門家評価）」において5度目の総合1位を獲得
1/05	SBI生命	2026年 オリコン顧客満足度(R)調査で 総合第1位を獲得し2冠達成！
1/05	SBI損保	SBI損保、「価格.com 自動車保険 満足度ランキング2026」の「総合満足度」「保険料満足度」「補償内容満足度」3部門において第1位を獲得
1/13	SBI生命	SBI生命、「LINE公式アカウント」でデジタルカスタマーサービスを開始
1/16	SBI損保	SBI損保、芦田愛菜さんが出演する自動車保険の新TVCM【第4弾】を1月17日から全国放映
1/20	SBI日本少短	SBI日本少短、『走り出そう！安心ライド応援キャンペーン』を実施
1/21	SBI日本少短	SBI日本少短、『アンケート回答であたる！カフェギフトプレゼントキャンペーン』を実施
1/30	SBI損保	宮崎銀行における「SBI損保の自動車保険」「SBI損保のがん保険」取扱開始のお知らせ
2/02	SBI損保	SBI損保と丸紅情報システムズ、生成AIを搭載したリアルタイムテキスト化工具のPoC（概念実証）を開始
2/02	SBI日本少短	SBI日本少短、『走り出そう！安心ライド応援キャンペーン 第一弾』を「みんなのバイク保険」にて本日より開始
2/06	SBI損保	「島根銀行×SBI損保実額補償がん保険」取り扱い開始のお知らせ

## 事業関連の主なニュースリリース（2/3） [2026年2月～2026年3月]

発表日	事業会社	表題
2/10	SBI生命	SBI新生銀行の住宅ローンにSBI生命の「全疾病保障付団信」付保の取り扱いを開始
2/16	SBI日本少短	SBI日本少短、「SBI子ども希望財団」に寄付
2/27	SBI損保	島根銀行における「SBI損保の海外旅行保険」取り扱い開始のお知らせ
3/02	SBI生命	SBI生命、保険市場「2026年版 最も選ばれた保険ランキング」にて「クリック定期! Neo」と「SBI生命の終身医療保険Neo」、「働く人のたより」が第1位を獲得し3年連続8冠達成
3/10	SBI生命	SBI生命、「Well-being CUSTOMER CENTER AWARD 2025」にて「最優秀賞（全体部門）」を2年振り3度目の受賞「最優秀賞（中・小規模センター部門）」を4年連続4度目の受賞
3/11	SBI生命	SBI生命、初のサステナビリティ・リンク・ボンド投資を実施
3/12	SBIいきいき SBIペット	「SBI AI Digital Award 2026」にてSBIいきいき少短が最優秀賞、SBIペット少短と合同で優秀賞
3/13	SBI損保	SBI損保、東京ヤクルトスワローズとオフィシャルスポンサー契約を締結
3/16	SBI日本少短	SBI日本少短、『走り出そう! 安心ライド応援キャンペーン第2弾』を「みんなのバイク保険」「みんなのスポーツサイクル保険」「みんなのebike保険」にて本日より開始
3/26	SBI損保	【SBI損保】仙台オフィスを130席規模に拡張

## 事業関連の主なニュースリリース（3/3） [2026年3月～4月以降]

発表日	事業会社	表題
3/27	SBI生命	SBI生命、社会福祉法人 日本聴導犬協会への寄付を実施
4/02	SBI生命	SBI生命の就業不能保険「働く人のたより」が「価格.com保険アワード2026年版」で2年連続第1位を受賞
4/08	SBI生命	SBI生命 4年連続でHDI格付けベンチマーククオリティ格付け「三つ星」を獲得
4/10	SBI日本少短	SBI日本少短、女性活躍推進の「えるぼし認定」を獲得
4/14	SBIいきいき	SBIいきいき少短 契約者との対話を深める「第2回 契約者懇談会」を開催
4/16	SBI生命	「2026年度 しっかり保険、ちゃんと節約グランプリ～就業不能保険部門～」でSBI生命の「働く人のたより」が5年連続第1位を獲得
4/27	SBI損保	栃木銀行における「SBI損保のがん保険」団体保険の導入に関するお知らせ
4/28	SBI損保	SBI損保、khb東日本放送と子ども向け森づくりイベントを実施
5/01	SBIリスタ	新規ご契約キャンペーンの実施について「人気銘柄米2種食べ比べセット」を新規ご契約者様にプレゼント
5/01	SBI日本少短	SBI日本少短とUSEN少短、テナント保険分野における戦略的パートナーシップを強化
5/08	SBI生命	SBI生命「このほけん！ Insurance of the Year 2026～就業不能保険部門～」にて「働く人のたより」が3年連続で第1位を獲得

<https://www.sbiig.co.jp>

 **SBI** Insurance Group

---

SBIインシュアランスグループ株式会社

証券コード：7326